

2024年10月10日

日本宗教学会 佐々木宏幹基金 2025年度研究助成金募集要項

庶務委員会内 佐々木宏幹基金検討ワーキンググループ

1. 研究助成金の目的

2024年2月に逝去された本学会名誉会員佐々木宏幹先生のご遺志とご寄付により、若手の国際学会参加の機会を拡大するため、2025年開催のIAHRクラクフ大会について、下記の資格を有する会員に対して審査を経て、旅費、大会参加費、ネイティブチェック費などに関わる研究助成金（以下、助成金）を支給します。

2. 応募資格

- (1) 2025年4月1日現在、40歳未満で、2024年9月時点で常勤職（教授・専任講師・助教など）に就いていない、2023年度までの会費を納入済みの普通会员であること。
- (2) IAHRクラクフ大会に、発表を申込済みであること。申請時点で参加登録（registration）を行い、参加費を払い込んでいるかどうかは問いません。
- (3) 研究助成金は、大会参加後にのみ支給されるため、旅費・参加費を自ら用意できること。

3. 研究助成金金額と募集人数

研究助成金には2025年8月の職位に従って下記のA、Bの2種類がありますので大会参加時の職位に基づき選択ください。申請後の職位の変更についてはすみやかに日本宗教学会庶務委員会（以下、委員会）に報告してください。それにより金額の変更や取り消しがあることもご理解ください。

A) 100,000円（日本学術振興会特別研究員、それに準ずる経済的支援を受けている者）

B) 250,000円（Aに該当しない者）

A・Bを合わせて10～15名を支援対象者としますが、選考の結果、10名に満たないこともあります。

4. 応募方法

(1) 申請書と発表許可通知の提出

- ・申請書を、日本宗教学会ホームページからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、電子メールの添付ファイルで、委員会に送信してください。
- ・IAHRから発表を認めるという通知が届き次第、そのメールを委員会に転送してください。

(2) 締切日（いずれも必着）

- ・申請書：2024年12月2日（月）
- ・発表許可通知：IAHRからの通知の転送 2025年1月6日（月）

(3) 送信先・問い合わせ先：日本宗教学会庶務委員会 shomu.jars@gmail.com

5. 選考方法

佐々木宏幹基金検討ワーキンググループと委嘱された審査員による選考委員会によって書類選考が行われます。その際、若手の国際学会参加機会の拡大の趣旨に鑑み、国際学会未経験者を優先することもあります。

6. 選考結果の報告・発表

- (1) 選考委員会で審査し、2025年1月中旬に、申請者全員に電子メールで採否を通知します。辞退するばあいはすみやかに申し出ること。
- (2) 選考委員会は、受給者の氏名・発表題目、応募者数を2025年6月発行の『宗教研究』会報欄で報告します。

7. 研究助成金の支給

(1) 支給のための提出書類と支給時期

- ・大会参加を証明する書類（大会本部が発行する参加証明書や証憑写真など）と、収支報告書（旅費、大会参加費、資料代、ネイティブチェック費など）を、大会終了後にすみやかに委員会に提出してください。
- ・提出書類の内容を確認したのち、助成金を支給します。なお、いかなる理由でも発表をとりやめた者には助成金は支給されません。渡航後に発表をとりやめたばあいも含まれます。

(2) 助成金受領の領収書

助成金受領後、すみやかに受領を示す領収書を委員会に送付してください。書式は任意ですが、以下の点を記載してください。

記載事項は、領収書作成の年月日・宛名（「日本宗教学会」）・金額（助成額）・但し書き（日本宗教学会 佐々木宏幹基金 2025年度研究助成金）・住所・氏名となります。

8. 大会後の成果報告の義務

(1) 発表題目と要旨の提出

助成金の受給者は、2025年9月末日必着で、発表題目（欧文・和文）と発表要旨・質疑応答や大会参加から学んだことなど1600字程度の邦文報告とIAHRに提出したアブストラクトを委員会に、電子メールの添付ファイルで提出してください。これらは日本宗教学会ホームページに設けられるIAHR世界大会報告欄に掲載される予定です。

(2) 研究論文の発表

さらに2026年度内に発表を発展させた論文を本学会会誌 *Religious Studies in Japan* や『宗教研究』に投稿ください。これ以外の雑誌で発表するばあいは本学会の助成金による成果であることを明記し、その書誌データと現物コピー（PDF）を委員会に送付してください。なお論文の不採択など、研究論文の発表ができないばあいは、その旨を委員会に連絡してください。